

佐屋宿を訪ねて



愛西市西保町の星大明神社の境内に、「光田翁碑」がある。これは寺子屋師匠で、松隣寺の住職、後に星大明神社の神官となった光田達之進の記念碑である。ちょうどこの碑が建っているのは、明治の初めまで、竹王山松隣寺(曹洞宗)があったあたりで津島の興禅寺の末寺があった所である。廃仏毀釈によって寺は廃寺となり、神社だけが残った。 『佐屋町史より』



あいさいさん

津島市立南小学校 浅井厚視

①「佐屋」という地名は「佐屋川」に由来する。
○か×か。



②佐屋にある『式内社』は由乃伎神社である。
○か×か。



①「佐屋」という地名は「佐屋川」に由来する。
○か×か。

答えは×。

佐屋という地名は「相江（さえ）神社」から。

佐屋川は、木曾川の分派川。明治30年の鵜多須切れなどがあり、締め切りました。

②佐屋にある『式内社』は由乃伎神社である。
○か×か。



答えは○。愛西市の「諸鋤神社」（諸桑町）「宇太志神社」（鵜多須町）と「由乃儀神社」（柚木町）が延喜式神名帳に記されています。

③佐屋におかれた莊園は「下門真莊」（しもかどまのしょう）と呼ばれた。○か×か。



④佐屋では、家康と秀吉が覇権を争う戦いがあった。○か×か。



③佐屋におかれた莊園は「下門真莊」（しもかどまのしょう）と呼ばれた。○か×か。

答えは×。

大成庄 おおなりのしょう（愛西市三和町）東寺

下門間庄（愛西市見越町）

櫟江庄（愛西市石田町）

日置庄（愛西市日置町）

④佐屋では、家康と秀吉が覇権を争う戦いがあった。○か×か。



答えは○。

小牧・長久手の戦いの2か月後、大野城の山口重政を豊臣方が攻めた。これを家康・信雄軍が助け、滝川軍を破った

⑤信長と本願寺が対決した、長島一向一揆の戦いは愛西市も舞台となった。



蓮
淳



⑥佐屋街道は東海道の脇往還で、佐屋宿から三里の渡で桑名へ渡った。



⑤信長と本願寺が対決した、長島一向一揆の戦いは愛西市も舞台となった。



答えは○。

長島一向一揆（1570年小木江城落城信興自害）

（1571年 第一次 本陣 津島）

（1574年 第三次 市江口 早尾口 賀島口）

⑥佐屋街道は東海道の脇往還で、佐屋宿から三里の渡で桑名へ渡った。



木曾川（佐屋川）を下る
三里の渡し
大坂夏の陣 家康・義直
1623年 家光の上洛

⑦ 佐屋街道を通った有名人の中に松尾芭蕉がいた。○か×か。



⑧ 愛西市には佐屋・鶺多須・神守の三つの代官所があった。○か×か。



⑦ 佐屋街道を通った有名人の中に松尾芭蕉がいた。○か×か。

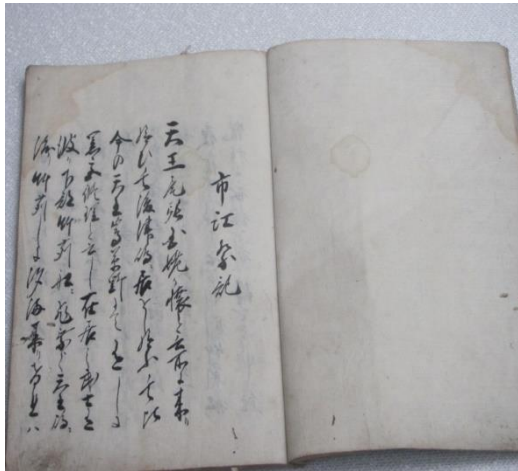


答えは○。
佐屋街道を通った有名人には、
芭蕉やシーボルト

⑧ 愛西市には佐屋・鵜多須・神守の三つの代官所があった。○か×か。

答えは×。
佐屋奉行は、元禄8年
(1695)に佐屋代官所は
天明元年(1781)に設置。
鵜多須代官所は天明2年
(1782)に設置。

⑨ 尾張津島天王祭は市江では「市江祭」と言っていた。○か×か。



答は○。市江では「市江祭」と言っていました。市江に牛頭天王があらわれ、疫病退散の仕方を教えてくれました。

⑩ 朝祭の日の深夜、暗闇の中で行われる神事は、神葎揃え神事である。

答は×。「神葎流し神事」と言います。昔から神葎流し神事は真夜中に行われ、見てはいけない神事とされてきました。